

秋季特別展 「J-mode 縄文の流儀」

11月3日は
無料開放



博物館 10月7日(土)~11月26日(日)

縄文人のものづくりの流儀は、今へとつながっている

縄文時代の八戸は、早くからヒトがムラを営んだ地域であり、工芸品のような土器をつくる高度なものづくり文化がみられます。

八戸で出土した縄文土器を厳選し、器のつくりやデザインから縄文人のものづくりの流儀に触れるとともに、縄文の影響を受けた近現代の芸術活動と民芸運動を通じ、今へとつながるものづくりの流儀を紹介します。



青森県柳引遺跡出土品
重要文化財
縄文時代草創期
大きさ26.3cm
当館蔵

ギャラリートーク 日時 10月7日(土)、11月3日(金・祝)・25日(土) 10:00・14:00(要観覧料)

コレクショントーク 日時 10月15日(日)、11月12日(日)・26日(日) 10:00・14:00(要観覧料)

講演会 要申込 日時 11月5日(日)14:00~16:00

場所 はちふくプラザ ねじょう 多目的ホール **演題** 『縄文文化の魅力』

講師 青柳正規(奈良県立橿原考古学研究所所長元文化庁長官)

定員 100人

八戸市博物館

貝でデザインされた土器



深鉢形土器
(八戸市田面木平(1)遺跡出土)
縄文時代早期
大きさ43.3cm
当館蔵

☎44-8111 ④根城字東構35-1 ⑤10月10日・16日・23日・30日、11月13日・20日・24日【観覧料】一般300円、高校・大学生150円(団体料金あり) ※小・中学生は無料、市内65歳以上・障害者手帳をお持ちの人と同伴者1人は半額【協力(予定)】青森県埋蔵文化財調査センター、青森県立郷土館、八戸市美術館、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館、八戸市南郷歴史民俗資料館、清水寺

秋季企画展 掘りdayはちのへ 令和元年~令和4年度発掘資料展

11月3日は
無料開放



是川縄文館 10月7日(土)~11月26日(日)

是川縄文館では、八戸市内の埋蔵文化財の発掘調査・研究を行っています。

本展では、令和元年から令和4年までの過去4年間の発掘調査から、八戸の歴史を読み解く最新情報をご紹介します。

ギャラリートーク 日時 会期中毎週(土)14:00

みんなで土偶マイム! 日時 10月9日(月・祝)10:00

土偶マイム 日時 10月9日(月・祝)11:30

考古学講座 要申込

日時 10月9日(月・祝)14:00~16:00

テーマ 『「土偶とは何か」の研究史』

講師 白鳥兄弟

定員 100人



土偶マイム

映画上映会 要申込 主催/八戸縄文保存協会

【共通事項】※申し込みは10月1日(日)受付開始
定員 各回30人 料金 500円(未就学児無料)

上映作品

『掘る女 縄文人の落とし物』

日時 10月29日(日)14:00、11月5日(日)10:00

『縄文にハマる人々』

日時 10月29日(日)10:00
11月5日(日)14:00



土面
是川一王寺遺跡
縄文時代中期

展示資料 一王寺遺跡・松ヶ崎遺跡・八戸城・酒美平遺跡・田面木遺跡・法霊林遺跡 出土資料 ほか



八戸の遺跡からは
どんなものが見つ
かっているん?

埋蔵文化財センター是川縄文館

☎38-9511 ④是川字横山1 ⑤10月10日・16日・23日・30日、11月6日・13日・20日・24日【観覧料】一般250円、高校・大学生150円(団体料金あり) ※小・中学生は無料、市内65歳以上・障害者手帳をお持ちの人と同伴者1人は半額 【協力】青森県埋蔵文化財調査センター、八戸市博物館